

全国高校生体験活動顕彰制度
「地域探究プログラム・オリエンテーション合宿 in とかしき」

開 催 要 項

1. 趣 旨

近年、成人年齢の引き下げ並びに18歳選挙権付与など、社会構造が大きく変化し、多くの者が高校在学中にその年齢を迎えることから、これまで以上に社会への関りを強めることが高等学校教育には求められる。また併せて、急速に変化する情報化、グローバル化への対応、パンデミックによる生活様式や日常環境の変化など予測困難な社会の中で学齢を鑑み進学への意欲を保ちつつ、進路を決定していかなければならない。そのため学校教育においては「社会を生き抜く力」「探究する力」の育成が求められ、学習指導要領において「主体的・対話的で深い学び」につながる学習形態を推進し、このことを踏まえ高等学校においては総合的な探究の時間における「探究学習」の充実を図ることとなっている。

一方、青少年教育施設においては、体験活動や集団宿泊合宿を通して「生きる力」を育み、多様なプログラムの提供やノウハウの蓄積により、青少年の自立に寄与している。体験活動は、豊かな人間性、自ら学び、自ら考える力などの生きる力の基盤、子どもの成長の糧としての役割が期待されている。また、集団宿泊合宿は普段と異なる生活環境のもと、豊かな自然や文化に触れる体験を通して学習活動を発展させるねらいがあり、参加者が学習以外でも同じ時間を過ごすことで、コミュニケーションをとる機会が増え、親睦を深めることができるといったメリットがある。それらはまさに「主体的・対話的で深い学び」であり、高等学校と青少年教育施設が連携して高校生の課題へ取り組むことは非常に有意義である。そのため、国立青少年教育振興機構において、機構各施設の立地条件を踏まえた多様な体験活動のノウハウを活用して、全国高校生体験活動顕彰制度「地域探究プログラム」(※1)が創設された。

本事業は、同制度の一環として、探究学習の手法を取り入れ、宿泊を伴うオリエンテーション合宿を通して、“離島”というフィールドを課題対象とした「地域課題の探究方法(実践活動を含む。)」を学習し、ものごとを探究する姿勢、主体的に取り組む態度、課題に向き合う力を身に付けるカリキュラムを実施する。

(※1) 全国高校生体験活動顕彰制度「地域探究プログラム」

- ・高校生(個人又は団体)は、機構各施設が募集する「地域探究プログラム・オリエンテーション合宿」に参加し、探究学習の手法を取り入れたカリキュラムを受講する。修了者へは修了証が発行される。
- ・合宿終了後、希望する者は、取り組む地域課題について実践活動を行い、実践活動報告書を機構へ提出する。報告書が受理された場合は、令和6年度九州・沖縄ブロックの地方ステージでプレゼン発表ができる。
- ・さらに、地方ステージで選出された場合は、全国ステージでプレゼン発表ができ、優秀者には文部科学大臣賞等の顕彰がなされる。

2. 主 催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立沖縄青少年交流の家

3. 後 援 沖縄県教育委員会 渡嘉敷村 渡嘉敷村教育委員会 琉球新報社 沖縄タイムス社

4. 期 日 令和6年7月13日(土)～7月15日(月) 2泊3日
※荒天等で船舶欠航の場合によっては事業中止となることもあります。

5. 場 所 国立沖縄青少年交流の家

6. 対 象 日本在住の高校生及びそれに相応する学籍又は年齢にあるもの

7. 定 員 8名

8. 参加費 6,500円(施設使用料、食事代、保険料、環境協力税、雑費等)

9. 研修日程

7/13 (土)	8:00	8:15	9:30	10:00	11:30	12:00	13:00	14:00	16:30	18:00	19:00	20:30	22:00	
	会議室集合・受付 とまりん2F	ガイダンス	乗船	フェリーとかしき	移動	昼食	講話 「地域づくりの 実践」	フィールドワーク① 「地域の魅力を発見」	フリータイム	夕食	講義・演習① 「地域理解」	入浴	就寝	
7/14 (日)	6:00	7:00	7:40	9:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00
	起床	つどい	朝食	フリータイム	講義・演習② 「課題解決の 基礎」	「フィールドワーク② 「地域課題の探究」	昼食	フィールド ワーク② 「地域課題の 探究」	フリー タイム	講義・演習③ 「地域課題の探究」	夕食	発表練習	入浴	フリー タイム
7/15 (月)	6:00	7:00	7:40	8:45	9:00	10:00	12:00	13:00	14:00	15:00	15:30	16:00	17:10	
	起床・清掃	つどい	朝食	清掃 チェック	発表 ①	講義・演習④ 「行動計画の 基礎」	昼食	発表②	実践活動の ための ガイダンス	エン ディング	移動・乗 船	フェリー とかしき	泊港着・解 散	

10. 講師及びファシリテーター

(1) 講師

古波蔵 善之介 (こはぐら よしのすけ) : 渡嘉敷村商工会副会長、とかしくマリンビレッジ社長
 ・講話 「地域づくりの実践」

(2) ファシリテーター

宮里 恵太 (みやさと けいた) : 沖縄県立総合教育センター 指導主事
 山口 栄臣 (やまぐち えいしん) : 沖縄県立美里工業高等学校教諭

- ・FW①「地域の魅力を発見」
- ・講義・演習①「地域理解」
- ・講義・演習②「課題・解決の基礎」
- ・FW②「地域課題の探究」
- ・講義・演習③「地域課題の探究」

11. 内 容 (1単位時間は50分)

- ・ガイダンス (1単位時間)
 全国高校生体験活動顕彰制度の趣旨や内容、オリエンテーション合宿について理解する。
- ・講話「地域づくりの実践」 (1単位時間)
 今後の活動に向けて、参加者の興味・関心事項を引き出すとともに、地域に魅力を感じ、よりよい地域づくりを実践していくための意欲を高める。
- ・フィールドワーク①「地域の魅力を発見」 (3単位時間)
 地域づくりに関する取組についての活動を体験し、その魅力を発見する。
- ・講義・演習①「地域理解」 (2単位時間)
 地域理解をより深める為に、グループ協議においてフィールドワーク①で得た、個の気づきや発見を共有する。

- ・講義・演習②「課題解決の基礎」(2単位時間)
探究のプロセスの考え方を学ぶ。自らの興味・関心をもとにした高校生らしい仮説(地域をよりよくするためのアイデア)を立てる。また、フィールドワーク②に向け、一人ひとりの仮説(アイデア)を検証するための質問や取組をグループで検討する。
- ・フィールドワーク②「地域課題の探究」(3単位時間)
地域の理解をより深める。講義・演習②で立てた仮説よりも詳細(発展的)な活動(解決策)を思案する。
- ・講義・実習③「地域課題の探究」(3単位時間)
要点のまとめ方や簡潔な文章の基本について理解する。地域課題への気づきや発見を共有し、多面的・多角的に考察することで、より有効な活動を思案する。発表①の準備を行う。
- ・発表①(1単位時間)
伝えたい内容を的確にまとめ、かつ相手に応じた表現をするための基礎を学ぶ。
- ・講義・演習④「行動計画の基礎」(2単位時間)
行動計画の基本的事項を理解する。また、実践活動での行動計画を作成する。発表②の準備を行う。
- ・発表②(1単位時間)
伝えたい内容を的確にまとめ、かつ相手に応じた表現を意識的に実践する。
- ・実践活動のためのガイダンス(1単位時間)
実践活動を実施する上で安全管理や社会のルール・マナーを理解する。
※講師及び日程・内容については、都合により変更になる場合があります。

12. 申込みについて

- (1) 受付期間 令和6年6月21日(金)午前9時から令和6年6月27日(木)午後3時まで。
※先着順ではありません。応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。
- (2) 申込方法
参加申し込みフォームに必要事項を入力し申し込みください。
参加申し込みフォーム: <https://forms.office.com/r/PhbLR68Db1>
- (3) キャンセルの場合は速やかにご連絡をお願いいたします。



13. 持ち物

- 着替え ○帽子 ○タオル ○筆記用具 ○健康保険証(写しでも可)
- 洗面・入浴用具(歯ブラシ、シャンプー、石けん等) ○マイカップ(水筒可) ○雨具(カッパ)
- 履きなれた靴 ○日焼け止め ○屋内用スリッパ ○常備薬(必要な方) ○酔い止め薬(必要な方)
- ※金品や貴重品は各自で管理してください。

14. その他

- (1) とまりん駐車場ビル2階会議室Aに8時に集合・受付の後、ガイダンスを行い、交流の家職員と一緒にフェリーへ乗船します。(チケットの購入はありません。)
- (2) 渡嘉敷から戻って後はそのまま解散となります。
- (3) アレルギー等、健康上の配慮が必要な場合は、必ず申込時にお申し出ください。
- (4) 食事代には、1日目の昼食・夕食、2日目の朝食・昼食・夕食、3日目の朝食、昼食が含まれます。
- (5) オリエンテーション合宿終了後に各自で実施する実践活動については、オリエンテーション合宿において実施した内容に基づき、居住または通学する地域の課題を発見し、計画を立て、課題を解決する活動を5日間以上実践することとします。オリエンテーション合宿前から取り組んでいる活動(学校の総合的な探究の時間で取り組んでいる活動やその他の個人的な実践活動)については実践活動に含まれません。(地方ステージ、全国ステージの対象外となります。)

(6) 荒天等で船舶欠航の場合によっては事業中止となることもあります。

(7) 泊港までの交通機関経費は自己負担となります。

ご記入いただいた個人情報は、「独立行政法人国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規程」等に基づき適切に管理し、この事業に関する事務のみに使用し、法令等に定める場合を除いて第三者に開示することはありません。

本事業で職員等が撮影した写真や映像、制作物、感想文等の著作物を、当機構の広報等に使用する目的で、報告書や刊行物、インターネット(ソーシャルメディアサービスを含む)等に掲載することがあります。また、新聞社、雑誌社等が発行する刊行物やインターネット(以下、「印刷物等」)に記事・写真を掲載することもあります。

なお、当機構がインターネット上に公開した肖像及び著作物について、本人(又は保護者)から削除依頼を受けた場合は速やかに削除します。ただし、機構発行の印刷物並びに機構以外の者が発行・運営する印刷物等については対応できかねますのでご了承ください。

国立沖縄青少年交流の家 検索



マリブルー とわいき
国立沖縄青少年交流の家
National Okinawa Youth Friendship Center

問い合わせ: 国立沖縄青少年交流の家 企画指導専門職 島袋 亮治

〒901-3595 沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷2760

TEL 098-987-2306 FAX 098-987-2318

HP <https://okinawa.niye.go.jp/> Mail okinawa@niye.go.jp